彩の国資源循環工場による環境汚染調査

地質を調べてから水質を測る

彩の国資源循環工場と環境を考えるひろば 加藤晶子

出ないはずの排水から汚染

で芸育から未修権場と、

本八十五項目の不配別書 原本人な一名とい

お飲み後にていた目的といることも見れして「肉質理論をデデル機能

□ 高い数値の印が打ち向外 ● の数値の印が打ち向外

20 子上第30・三十級 本(日本0・01級) スの最大調査で、環境科・名が、一様は取らけの地の課題指に変われる機・薬の場所会を開催して年代のでは、原の工場を対象の機会を開催して 「名の成績を発見る。作 生といみのわられて 見ばる 本対象は東京経費のデオナーの、新聞が上海に戻ってから、新聞が上海に戻ってから、大きなのでは、 とは、京都の上海に戻ってから、 とは、京都を持ちない。 現るは隣いているい 願いていない。 に自じに掲載する主義 簡が会開催している記憶会を買く、それま し、公会となかった。コール会の情報化産業に 日に後継令員全員に対す

だ、一発を向けの前に反省していることした。 会解他の手を経れてい 情報公開が遅れている。 の一支がした民間リサイクルは、現代を経験が続い、現が 製造量を、以中ごとの水道水道をの水道をは、 古に松野さる神 関係などをおける

で出土機関の機能を行成で、数量を基金工工を信息的が整理されていた。たが、、目のかった、誘動物の水温でもある 2007年(三年19年)2月8日



基注である。分析精度、検用の事業をこれまで公 者していなかった長期 に、一般などの経費が心面も た。と不安を終える面も

からは其の人工をを批算 に要約のころの世 えられないの目、諸地会 ダイオのこの常日が民 施設の不衡を指

養養の 男体

金属されての

一が出る、異なるのなが で、美いは20mm

日本一般しい環境対策と確認した情報が改造される。「現の実力サイクル体験」もの問題の構造版「版」「回程では打工 基準の27倍 説

指に対象が、民国権地の開発の手間に子を与て大連の最初事業の自任命者なって、も

水雕日

オキシンも検出

Manager sa 基準の6倍、住民批判

原保基準値で大陸に「 ダイオキシンが後出さ へへの楽奏については常統が後出された「学 れていたことが「日分 可偏はない、としている政策報告工事」(会 かった。単によると、 る。 William. 発生原区は不明点しな

學能は同じ、UFが5つ した。 医が変めた療護器 のダイオーシンを検出

タイステンジ検出は、 を雇用で同け通かれた 使用向けの説明会で、 なが用・原質係込養を する直針の由水を採取内の防災額所担に第入 作年12月第日、同工場 連貫が明らかにした。 当たれき・モデクラム 権権にだけるも、主体 〇川 第一級分の1

東京ともの問題のカー 分の指数のCP(複数 日のはおりCP(単) 日のはなりCP(単) 日のはなりCP(単) 大山の変化を開る

監視・公開体制、機能せず

2007.2.2

かにしていたが、近週休息への発明を怠っていたことも利用、環境の勢を復明責任の難問で修筑が

対象性でおり続

は常出し、な連択して、全国から、東を明ら大名のの、80~1程後を「特殊所り、建物・システムを入、原理的、仏教を信託的復出の事。 環境教会のシンクを受益情報 特殊内に立ち入るを有言。 宮間町を配過音を実行る、実上保険しなかった。ファンジ (2021年) 現場にから内閣 原えば、改造指数(2021年) で、設置したアスト

授で一旦、有得があり、子上信の報義の対抗を存在した。 高度を開始を終し情報を前体験を置いる

開催性の資料での作用では必可の総合的資産を複製ですが扱い。その数打った名の国会報館理工

東京新聞 社会面

鉛流出の埼玉施設

の発出の4月5月のこなったのの宣音変態第二 場の民間リサイクル発動 - 埼玉県直蓋町で

〇一致心态 (100回)

日新聞_埼玉面

いたいが、複数人の語である。 は今年1月次日に経復

そのため、ダイスティン 施したのでも意見が続

的な機械システムを導入 いに反省して当り、機し 問題があった。現場も大 大全国に集成けた事業 田尚司建事は、失迎 公表のプロセスに

が機器点検中、通常操作ー)としている。作業員 で得ったが「工場外には しない終品を回したた (同センタ

単いなど

カドミウム

大価クロム

高器様のカドミウム、 に流れたという。 検査を使の表表は 見り ター)としている。 心が書くなる」 同だり

太陽で、

山岸路平路區

ゼン」の爆弾から減免いりイクル維持「着玉ヤマ

何クロ

(共産)が明らかにした。

同工場内にある興精義

日分かった。県議会の代しから「十分間、出していた」とが二十二二十四日午前九出していた」とが二十二二十四日午前九

于四日生前九時十五分

焼却灰り

先月、通常の6倍

整備センター

た工場内の卵め立て抽ま

独国形

の場合、油川松幸方面 発展を下回ったが、一種 出検察では各成分とも基 ことになる。焼却皮の神 六倍の機能で計出された で出た一説時。細常の

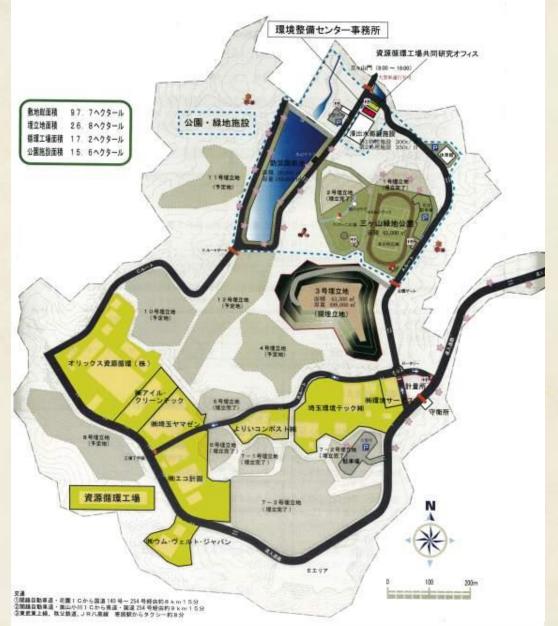
たが、十九日までホーム 程は、上月の地学監視

水質汚染のあった場所



- 鉛・ホウ素:雨水排水測定地点
- ダイオキシン類:防災調節池
- 水素イオン濃度(pH):同 上

彩の国資源循環工場敷地内地図



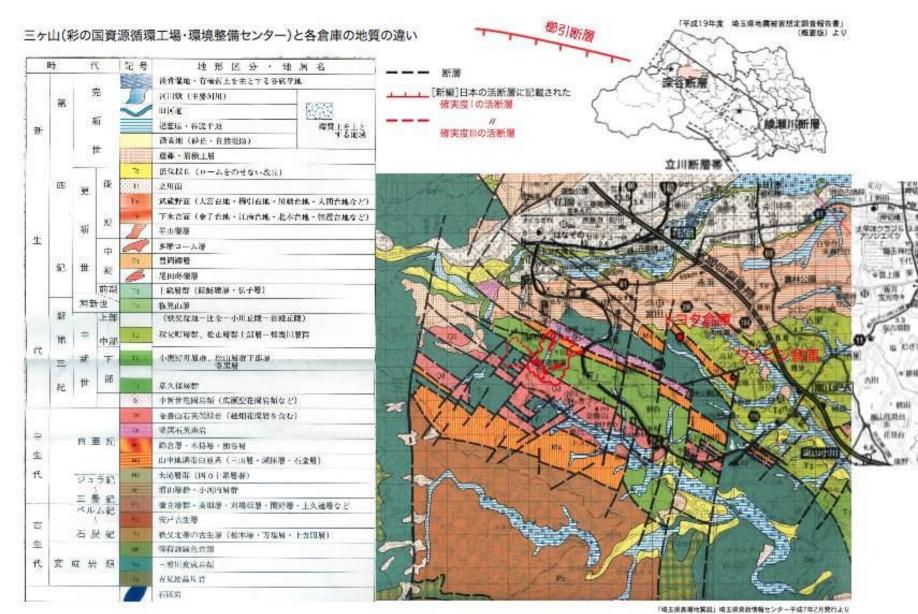
彩の国資源循環工場処理内容

-					
停止	施設名·処理内容	規模		搬入物	製品
	オリックス資源循環(株)ガス化溶融炉でごみ溶融	450 % 24時間	くず・繊維	棄物・一般廃棄物>燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック・紙くず・木くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず及び陶磁器くず・鉱さい・かれき類・体・動物系固形不要物・ばいじん	スラグ・金属類 無機塩・発電
	(株)エコ計画 焼却・RPF固形燃料製造・ 汚泥原料化・廃家電処理・堆肥化	594 % 24時間	ず・木くす	・棄物・一般廃棄物>燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック・紙くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず及び陶磁器くず・がれきの死体・動物系固形不要物	RPFごみ固形化燃料 肥料
	(株)埼玉ヤマゼン 焼却灰を焼成	300½ 2	24時間	<産業廃棄物および一般廃棄物>燃え殻・汚泥・鉱さい・ばいじん	路盤材(人工砂)
	(株)環境サービス RDF固形燃料製造	57% 2	24時間	<産業廃棄物および一般廃棄物>汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず及び陶磁器くず	RPFごみ固形化燃料 堆肥
	(株)アイル・クリーンテック 汚泥・食品残さを発酵	108½ 2	24時間	<産業廃棄物および一般廃棄物>汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・木くず・動植物性残さ・動物のふん尿	堆肥
	(株)ウム・ヴェルト・ジャパン 蛍光管水銀処理	25½ 2	24時間	<産業廃棄物および一般廃棄物>汚泥・廃プラスチック・金属くず・ガラスくず 及び陶磁器くず	ガラス・金属
	人 连来冼来彻飞似叶 选加	556½	8時間	<産業廃棄物および一般廃棄物>汚泥・廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維 くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず及び陶磁器くず・がれき類	再生骨材・チップ
廃	広域廃プラスチックリサイクル協同組合 発砲スチロール減容	6½ 2	24時間	<産業廃棄物および一般廃棄物>廃プラスチック・金属くず	原料ペレット
1	よりいコンポスト(株) し尿汚泥を発酵	200½ 2	24時間	<産業廃棄物および一般廃棄物>汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・木くず・動植物性残さ・動物のふん尿	有機堆肥

地質専門家による学習会



M7.5予測の活断層の面の上にある



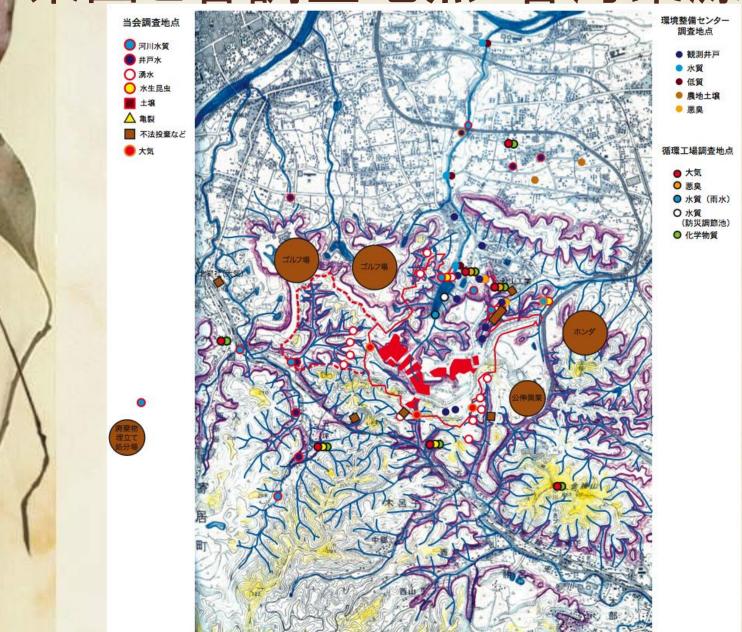
湧き水探索会 part1







水系図と各調査地点・各汚染源



湧水と土壌の重金属類測定結果(公定法)





証明番号 受付番号

G08-03301

資源循環工場と環境を考えるひろば 御中

件 名:土壤分析

1 ファー 中外元が次は外へを社 広島県広島中海医療・神町9番12号 中外元が活躍・神野の番12号 関東郷海保備にフター

千葉県千葉市禄区大野台2丁目2番16 TEL 043 (295) 1101 (代) 登録番号 第 521 号

環境計量士 園田 賢吾

分析責任者 井上 英征

+最結果を次のとおり証明致します。

			します。		A) Shirt
	計 並 の 結 秋山工業 横 湧水の土			計量方	法
nș/L	検出せず	0. 00005	0. 0005	昭和46年 開境庁告示第59号	付表1
ms/L	検出せず	0.001	0.01	JIS K 0102-54.3	
ms/L	検出せず	0.001	0.01	JIS X 0102-55. J	
	me/L	計 並 の 結 秋山工業 横 湧水の土 ma/l 検出せず ma/l 検出せず	計 並 の 結 果 定量 下駅値	計 並 の 結 果 秋山工業 横 湧水の土 定量 下駅値 基準値 1 表単位 1 表単	秋山工業 横 湧水の土 定証 基準値 計 並 方 下駅値 基準値 計 並 方 配え/1 検出せず 0.0005 0.0005 昭和45年 環境庁告示第59号 配え/1 検出せず 0.001 0.01 JIS K 8102-54.3

確考) 被出せずとは定量下限値未満のことです。 試料の調製は、学成3年 環境庁舎示第4号付表に定める方法に従いました。 基準値は、「土壌の汚染に強わる開発温準について」(平成3年8月環境庁舎示第46号)によるものです。 環境庁舎示第5号最終改正 III.5.11.5環境省告示第123号 JIS X 8182 (2018) 分析は持込試料にて実施しました。

計量証明書

資源循環工場と環境を考えるひろば 御中

件 名:水質分析



証明番号 受付番号

号 ¥081294 号 G08-031

平成20 年10 月1 日

中外是基礎的。社 県広島市場の19番12号

島県広島市西護安(15市9番12号 中外刊の町内第12条社 関東 建設領別センター

R十集市線区大野台2 J 目 2番 TEL 043 (295) 1101 (代) 登録番号 第 521 号 施

環境計量士 園田 賢苔

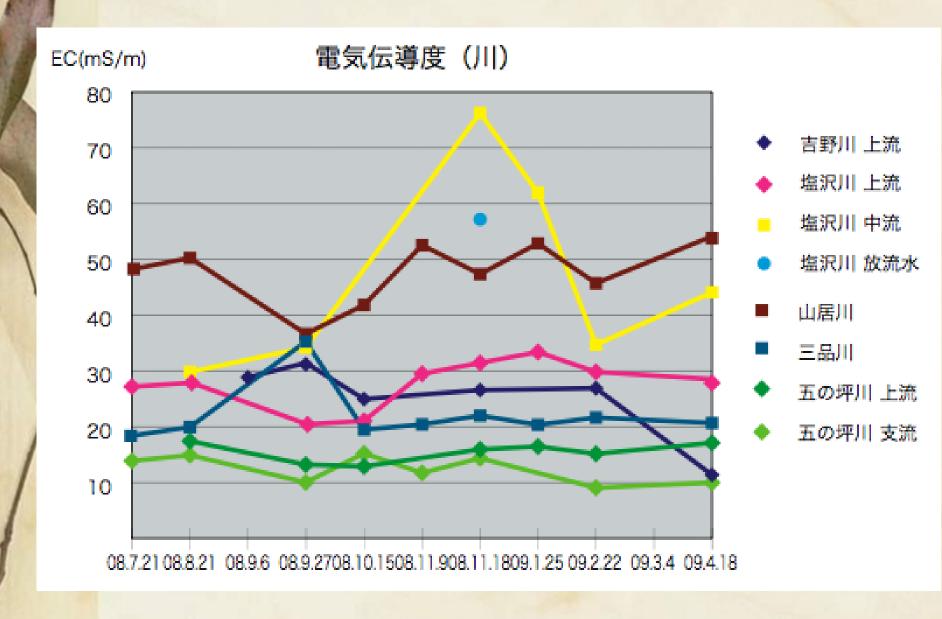
分析責任者 井上 英德人

計量結果を次のとおり証明致します。 計 量 の 結 果

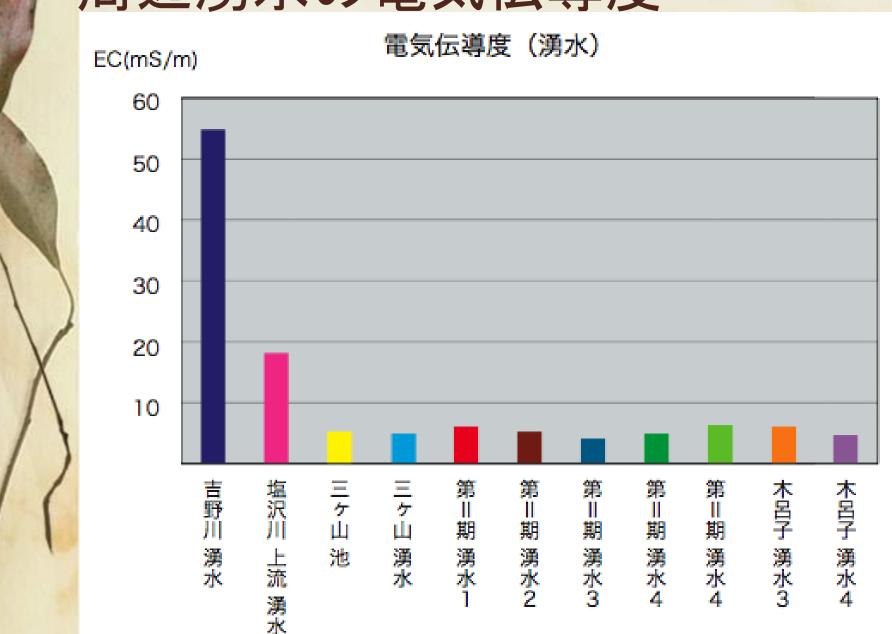
計量の対象 および単位							
			3 秋山工場横 の湧水	5 塩沢川上流 湧水	_	定量下限值	計量方法
総水銀 mg/L		検出せず	検出せず	-	0. 00005	昭和46年 環境庁告示 第59号 付表1	
	鄭	ng/L	0.002	検出せず	-	0.001	JIS K 0102-54.3
	カドミウム	ng/L	検出せず	検出せず	-	0.001	JIS K 0102-55.3
	以下余白						
				٠.			
			7			7	
400 (00)	韓田井がたけを書す	既 破 中 液 小	9 3. min-				

編考) 検出せずとは定量下順額未満のことです。 環境庁告示第59号最終改正: ※15.11.5環境省告示第128号 JIS X \$102 (2008) 分析は持込試料にて実施しました。

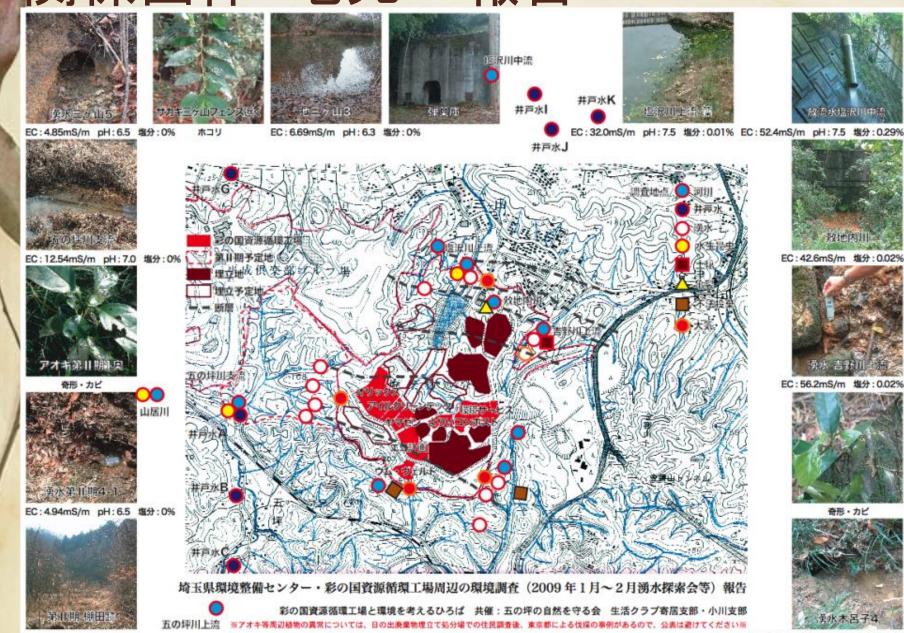
周辺河川の電気伝導度



周辺湧水の電気伝導度



関係団体・地元へ報告



EC:6.36mS/m pH:6.6 塩分:0%